

夢 現

～ 自分と向き合う ～

愛西市立八開中学校

2年学年通信

令和3年8月2日

No. 13 (道徳)



「人は、何のために働くのだろう」 ～道徳「聖地甲子園の土守」を通して考えました～

今回は阪神園芸で働く人の話。藤本さんと辻さん、そして金沢さんへと仕事が受け継がれていきます。藤本さんは、戦後のグラウンドを整備し大切に管理します。入団したての江夏投手が、砂埃を吸いグラウンドに唾を吐き藤本さんに叱られます。辻さんは外野の芝の長さにこだわり、金沢さんは辻さんから天気を読むすべを受け継ぎます。

授業では、藤本さんと辻さんの仕事に対する思いについて考え、テーマにせまりました。

●● ●●さん

人はお金のためだけに働くのではなく、その人の仕事に対しての情熱やプライドのために働いているのだなと思った。

●● ●●くん

人は「自分のため」、「人の役に立つため」、「恩返しをするため」などが理由となって働いているのだと分かった。自分も大人になったら、人の役に立てるように働きたいと思った。

●● ●●さん

私は将来「人のため」、「生活するため」、「一度きりの人生を楽しむため」に働きたいと思う。

●● ●●さん

自分だけのために働くのではなく、家族や周りの人のことも考えて働くのだなと思った。最後の動画では、「グラウンドを維持する」と言っていて、いつもと違うとプレーしにくいし、“いつも通りに”って難しいことでもあるけど、それをしているグラウンドキーパーの仕事のすごさが分かった。

●● ●●くん

僕は「人のため」、「お金のため」、「暇だから」などが人の働く理由だという思いが強かった。でも、藤本さんや辻さんの仕事を映像で見て、自分のやりたいことをやってやりがいを感じられる。そのようなことを考えながら、仕事をしたいなと思った。

●● ●●くん

人は「相手を笑顔にするため」や「誰かを幸せにできたと実感するため」に働くのだと思った。もちろんお金も大事！金沢さんはグラウンドがいつも同じ状態ということに喜びを感じていると思った。

●● ●●さん

人が何のために働いているのかが、今回の授業でよく分かった。「自分の人生のため」、「みんなが幸せに暮らせるため」、「家族のため」などがあった。その中でも私は、育ててくれた家族に恩返しをしたいと思った。

●● ●●くん

僕は小学生の頃、生きている意味や価値が全く分からなかった。でも、今回の授業を通して、働いてやりがいを感じ、自分の生きている意味を見つけられたらなと思った。

